つるおか芸文だより

令和7年10月31日発行

第21号

発行：特定非営利活動法人 鶴岡市芸術文化協会

第20回 鶴岡市芸術祭開幕

～石澤典夫さんをお迎えして記念講演会を開催！～

今年度の第20回鶴岡市芸術祭開幕行事が9月6日、荘銀タクト鶴岡を会場に、ご来賓・芸術文化団体関係者や市民の方々等、約350名が出席し開催されました。平成17年に新鶴岡市が発足し、平成18年から第1回でスタートした芸術祭も、本年は第20回の節目を迎え、開幕行事では式典・公演に併せ、元NHKエグゼクティブ・アナウンサーの石澤典夫さんをお迎えし、記念講演を行いました。また、エントランスでは、加盟7団体による展示も行われ、華やかな迎花とともに、様々な作品が、ご来場の皆様の目を楽しませてくれました。

式典では、主催者挨拶として、成澤和則市教育長と小林健郎市芸術文化協会会長が挨拶し、皆川治市長が祝辞を述べられました。引き続き、鶴岡土曜会混声合唱団による公演では合唱が披露され、会場には美しく清らかな歌声が響き渡りました。公演の最後には、ご来場の皆様とともに市民歌斉唱で芸術祭の幕開けを祝いました。

シルクロード（敦煌）についてお話しする石澤典夫さん

記念講演では「芸術文化との出会いが人生を豊かにする」をテーマに、石澤さんがNHKアナウンサー時代の経験や携わった番組のエピソードなど、映像を織り交ぜながら講演され「振り返ると出会いに恵まれ豊かな人生を歩んでこれた事を実感する。これからも出会いに感謝し、前向きな気持ちを大切に生きていきたい。」と語られました。また、講演の最後には、観客の皆様からの質問にもお答えいただく場面もあり、とても貴重なお話しを伺う機会となりました。

今年の芸術祭は、8月下旬から12月上旬の約3カ月に渡り、47団体による42の展示・公演が繰り広げられ、各地域文化祭が協賛し開催されます。

芸術の秋到来!! 芸術祭を通して心豊かに

特定非営利活動法人
鶴岡市芸術文化協会
会長 小林健郎

庄内平野は金色の豊穣の彩りに輝いて、いよいよ芸術の秋の到来となりました。

県民芸術祭参加、鶴岡市市制施行20周年記念、第20回鶴岡市芸術祭は、荘銀タクト鶴岡大ホールを会場として、鶴岡市長皆川治様はじめ、多くのご来賓、選考委員、会員、市民の方々のご出席をいただき、9月6日に開幕式典を開催しました。

今年の開幕行事は、式典、鶴岡土曜会混声合唱団による記念公演の他に、第20回を記念して元NHKエグゼクティブ・アナウンサーの石澤典夫氏による「芸術文化との出会いが人生を豊かにする」と題した記念講演が行われました。また、エントランスでは7団体の方々による、ちぎり絵、書、ステンドグラス、写真、絵画、迎花の展示が行われ、盛上げていただきました。

今年の芸術祭は47団体による42公演が予定されております。酷暑の今夏にもかかわらず、皆様、制作に練習、稽古に励んでこられた事と思います。本当に頭の下がる思いです。各団体の皆様の多様な素晴らしい創作活動の成果が披露され、団体間の交流が活発に行われる事を期待しています。

そしてまた、この芸術祭を通して会員、市民の皆様の生活がさらに心豊かなものになりますように願っています。

令和7年度　通常総会が開催される

令和7年度特定非営利活動法人鶴岡市芸術文化協会通常総会が、5月28日東京第一ホテル鶴岡で、皆川治鶴岡市長はじめ来賓、加盟団体代表など約80名が出席して開催されました。

小林健郎会長はあいさつで「今年度は市芸術祭が第20回の節目を迎えることを記念して、開幕行事は式典に加え鶴岡土曜会混声合唱団の公演と石澤典夫氏の講演など予定している。市文化芸術推進計画の趣旨を活かし芸術文化の振興、次世代育成に努めたい、会員の皆さんのご協力をお願いする。」と述べられました。

総会では、令和6年度事業活動報告並びに決算報告、令和7年度事業活動計画並びに活動予算が原案どおり可決承認されました。

また総会に先立ち功労者表彰式が行われ、東山昭子さんが特別功労者、難波正喜さん、三井薫さん、佐々木秀子さんの3人が功労者として表彰されました。

その後、懇親会が同会場で開催され、功労者を祝福するとともに、来賓や会員同士で親睦を深め和やかに交流する機会となりました。

会場の様子

特定非営利活動法人 鶴岡市芸術文化協会役員

任期2年（令和6年5月28日～令和8年5月27日）

会長	小林健郎
副会長	柿崎泰裕
副会長	梅津芳春
副会長	髙山千代子
理事事務局長	榊原賢一
理事	渡部一彦
理事	布川美與子
理事	佐藤真由美
理事	古本暁美
理事	佐藤謙
理事	菅原和則
監事	松本武雄
監事	阿部淳二

令和7年度　事業活動計画

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

本年度は、鶴岡市文化芸術推進基本計画の趣旨を活かし、会員の一層の意識高揚と融和協調を図り、本市の文化芸術振興のため鋭意努力する。

1　事業実施の方針

- 第20回鶴岡市芸術祭を事業の中心に据え、市民の芸術文化活動の振興および拡大を図る。
- 法人設立10年目に鶴岡市芸術祭が第20回の節目を迎えることを記念して芸術祭開幕行事を開催する。
- 若い世代の育成支援として文化芸術の継承発展のため「こども文化クラブ」事業を推進する。
- 本法人の事業内容の周知・広報に努め、情報共有と新規会員の加入促進を図る。
- 鶴岡市文化会館の指定管理者（タクトつるおか共同企業体）として、文化会館の適切な管理運営に努め、芸術文化の振興に寄与する。

2　事業の実施に関する事項

事業名	具体的な事業内容
1 芸術祭の開催事業	・第20回鶴岡市芸術祭の開催（鶴岡市教育委員会との共催） ・第20回鶴岡市芸術祭開幕行事（式典・公演・講演会・展示） ・第20回鶴岡市芸術祭閉幕のつどい
2 芸術文化創作活動、発表活動の振興事業	・芸術文化活動、交流への支援としての後援承認等
3 加盟団体、会員相互の連携、交流・顕彰事業	・功労者表彰規定に基づく表彰
4 次世代の育成事業	・「こども文化クラブ事業」の実施
5 会報発行等の広報活動事業	・会報「つるおか芸文だより」の発行（年2回） ・本会ホームページの運用
6 文化施設の整備促進、利用促進、管理・運営事業	・鶴岡市文化会館の管理運営業務の受託（指定管理）
7 各種芸術、文化に関する発表会、公演会等の共催、後援事業	・会員が主催・共催する発表会、展示会および全市芸術的文化事業への協力（共催・後援）
8 その他目的達成に必要な事業	・庄内地区芸術文化懇談会への参加 ・鶴岡市文化基金協議会運営への協力 ・市内芸術文化活動未加盟団体等の情報収集

令和7年度 鶴岡市芸術文化協会 功労者表彰

特別功労者表彰

鶴岡市芸術文化協会 相談役
前 鶴岡市芸術文化協会 会長
東山 昭子 氏

鶴岡市芸術文化協会会長として長年にわたり当協会の発展向上に寄与されました。市民参加型の鶴岡市芸術祭をはじめ、6地域芸術文化協会の一体化、NPO法人設立を牽引し、芸術文化団体や若い世代の育成支援に精力的に取り組まれ、芸術文化の振興に多大な貢献をされました。

鶴岡市芸術文化協会 相談役
石田雄先生に感謝

鶴岡市芸術文化協会事務局長として、会務の拡大発展に心血を注がれ、また、記念誌や広報発行を通じて本会と市民や関係各位を絆深く結ぶ任務に精魂を込められました。ご功労に敬意を表しますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

（9月18日 95歳で逝去）

功労者表彰

前 鶴岡市芸術文化協会 副会長
前 櫛引芸術文化協会 会長
難波 正喜 氏

櫛引芸術文化協会会長として長年にわたり地域の芸術文化の普及発展に寄与されました。また、当協会理事、副会長としてNPO法人の設立・運営に多大な貢献をされました。

前 鶴岡市芸術文化協会 理事
元 日本九重流鶴城清吟会 副会長
三井 薫 氏

日本九重流鶴城清吟会副会長として会員融和に務め、詩吟の普及発展に寄与されました。また、当協会監事、理事として法人運営に多大な貢献をされました。

稲京短歌会 代表
佐々木秀子 氏

稲京短歌会の代表として長年にわたり会の統率運営に当たられ、また指導者として短歌文芸の普及発展、子ども達への短歌を通しての情操教育に注力されるなど、芸術文化の振興に貢献をされました。

令和6年度（第62回）
県民芸術祭賞受賞

山形県芸術文化協会の令和7年度通常総会が令和7年5月24日(土)に山形グランドホテルで開催され、令和6年度第62回県民芸術祭賞贈呈式も併せて執り行われました。当会から県民芸術祭へ参加した中から3団体が受賞しました。受賞団体の皆さまおめでとうございます。今後ますますのご活躍を期待しています。

優秀賞

- **創立100周年記念 令和6年度白甕社美術展（公募）**
  【白甕社】

奨励賞

- **ミュージカル「蜂子の皇子物語～神様と友達になった夏休み～」**
  【出羽庄内市民ミュージカル若手塾】
- **日本九重流朝暘清吟会 創設第150回記念大会**
  【日本九重流詩吟朝暘清吟会】

第20回 鶴岡市芸術祭開幕行事

開幕式典

小林会長 挨拶

皆川市長 祝辞

成澤教育長 挨拶

鶴岡土曜会混声合唱団

石澤さんへ花束贈呈

── 第20回 鶴岡市芸術祭 開催に寄せて ──

第20回鶴岡市芸術祭に感謝

鶴岡和紙
ちぎり絵サークル 代表
小澤紀美

平成17年に新鶴岡市が発足した時、昭和38年以来活動していた鶴岡市芸術文化協会がありました。各地区には歴史ある芸術文化活動があり、一本化するにあたり、山崎誠助会長、石田雄事務局長を中心に数回の話し合いを持ち、各地区の立場を理解・尊重し、芸術文化を愛する心を一つにまとめ、平成18年第1回鶴岡市芸術祭が誕生しました。芸術祭協賛金制度の輪も広がりました。今後も市民と一体化し、香り高い芸術文化の創造を期待しております。

感動と感謝の街づくり活動に深謝

元 特定非営利活動法人
鶴岡市芸術文化協会 理事
渡部 嚴

鶴岡市合併20周年の節目に、NPO法人鶴岡市芸術文化協会が誕生してから早や十年。各地域では先人が生活の中から生まれた文化、歴史、伝統等の継承が困難な時代となりました。その古の文化に現代の芸術文化等重ね、市民が楽しみながら集い、語り、諸々の想いを形にし、街中や地域に市民の感動と感謝の意が響き渡る、文化の高い街づくり活動に深謝し、更なる発展を期待します。

── エントランスホールでの作品展示 ──

鶴岡和紙ちぎり絵サークル

書道研究 飛雲会

藤彩色葉会

小原流鶴岡支部

ステンドグラス“光彩”

Do youフォト教室

庄内水彩画会

第20回鶴岡市芸術祭賞 選考委員

舞台部門（大衆芸能部門含む）

小林　功
五十嵐　悦郎
佐藤　よし子
佐竹　美津子
布川　美輿子
岩松　美代
阿部　由利
齋藤　健太郎
樋坂　聡

展示・茶道部門（文芸部門含む）

梅津　芳春
柿崎　泰裕
藤間　静貴久
佐藤　嘉男
髙山　千代子
田中　芳昭
秋山　かおる
村山　智昭

総括（事務局長）

榊原　賢一

令和7年度 こども文化クラブ事業について

こども文化クラブ事業の計画

鶴岡市総合型文化クラブ事業助成を受けて実施する「こども文化クラブ事業」は、子どもたちが芸術文化に触れ親しむ機会を通じて豊かな心と感性を育むことで、次世代への継承・発展につながることを期待しています。

今年度のスタートとして、鶴岡市中央公民館との共催で市内全域の小学生を対象とした体験講座（華道教室）を6月に開催しました。また、地域の放課後子ども教室と連携した講座は、7地区で6月から来年1月までの12分野54回の実施を予定しています。加盟団体から派遣の講師等の皆様には、引き続きご協力をお願いいたします。

●朝暘第三小学校 6年　植木 愛実

私は、初めていけばなの体験をして少しきんちょうしたけど、いけ始めたらおもしろくてとても楽しかったです。花の角度や長さ、向きなどを変えると印象も変わってきて、色々なバリエーションがあっておもしろいなと思いました。また、色々な流派があって、流派によっていけ方もちがうこともわかって良かったです。

華道教室

事業内容

1 実施日
令和7年6月7日から令和8年1月16日まで

2 分野
短歌、絵画、造形、和紙ちぎり絵、ステンドグラス、琵琶、文化箏、尺八、民話、フラダンス、茶道、華道

3 会場
中央公民館、上郷、三瀬、由良、湯野浜、大山、西郷、鼠ヶ関

特定非営利活動法人 鶴岡市芸術文化協会 部門別加盟団体・地域芸術文化協会一覧（62団体）

地域・部門	団体名称	代表者
地域	藤島芸術文化協会	齋藤兼夫
	羽黒芸術文化協会	丸山壽身
	櫛引芸術文化協会	佐藤信弘
	朝日芸術文化協会	清野吉喜
	温海芸術文化協会	本間庸枝
文芸	黄雞鶴岡歌会	山口園枝
	稲京短歌会	佐々木秀子
	俳誌「月山」鶴岡支部	阿部月山子
美術	白甕社	松平一民
	鶴岡書道会	山本良伸
	畊雅会	阿部律子
	鶴岡小品盆栽会	上林節男
	如月会	梅本幸仙
	鶴岡和紙ちぎり絵サークル	小澤紀美
	庄内写真研究会	佐藤時彦
	フォトサロン写楽	菅原健一
	書道研究 飛雲会	渡部飛雲
	ステンドグラス“光彩”	東海林宏子
	Do youフォト教室	菊地勝春
	庄内水彩画会	工藤祐吉
邦楽	錦心流琵琶全国一水会鶴岡支部	市川清治
	宝生流鶴岡五雲会	岡　眞理子
	山形県大正琴・文化箏愛好会	梅津芳春
	鶴岡竹友会	佐藤　晃
	高橋理香箏アンサンブル	高橋理香
	荘内竹道会	渡部滋人
	庄内謡曲愛好会	西澤雪子
	佳興の会	岡　政雄
日舞	藤静会	藤間静貴久
	千川流	千川貴楽
民謡・民舞	さゞ波会	後藤和夫
	淡井会	山本淡井

地域・部門	団体名称	代表者
吟詠	日本九重流鶴城清吟会	佐藤　謙
	九重流詩吟学会朝暘清吟会	百瀬皓洲
	剣聖流剣詩舞鶴岡剣聖会	小竹郁弥
民俗芸能	田川民話の会	帯刀春男
洋楽	鶴岡土曜会混声合唱団	佐藤大吾
	鶴岡放送児童合唱団	伴　和香子
	バウムクーヘン	小野寺智子
	スイング・クレインズ・ジャズ・オーケストラ	橋本祥造
	鶴岡吹奏楽団	大場輝和
	鶴岡ジュニアオーケストラ	深澤康之
	荘内金管合奏団	加藤　聡
	鶴岡軽音楽クラブ	村山智昭
洋舞	吉続舞踊学園	吉續正義
	ハウオリフラスタジオ	五十嵐道子
	ニケラベリーダンスカンパニー	地主裕子
	Reve・Ballet studio	眞田　優
	◎Te Tiare Nui フラ＆タヒチアンダンススタジオ	佐藤由美
演劇	劇団いでは	大舘一治
	劇団だいこん座	佐藤秀樹
	表現舎刻一刻	佐藤正一
	出羽庄内市民ミュージカル若手塾	大井卓磨
茶道	大日本茶道学会鶴岡支部	手塚裕美
	裏千家淡交会庄内支部鶴岡地区	小林宗節
	表千家同門会山形県支部庄内地区	日向宗節
	遠州流茶道山形支部	堀　宗敬
華道	古流松應会庄内支部	古本理暁
	一般財団法人　小原流鶴岡支部	阿部　剛
	草月会山形県支部鶴岡地区	眞田鶴声
	池　坊	冨樫秀月
大衆芸能	庄内なつメロ会	菅原幸一

◎印は新規加盟団体（令和７年１０月現在）

編集後記

第20回鶴岡市芸術祭開幕行事も皆様のご協力で無事に終わり、その一端を今回の広報に載せました。広報が届く頃には、会員の皆様が日頃丹精を込めた作品や、演奏、舞台などが終盤を迎えていることと存じます。お互いに応援し合い、鶴岡の芸術を更に盛り上げて行ければと思います。芸術は感動です。感動が多ければ多いほど、心は豊かになります。是非その感動を紙面に活かしていきたいと思っています。皆様のご意見を是非お願いいたします。（髙山千代子）

特定非営利活動法人 鶴岡市芸術文化協会への加盟のご案内

鶴岡市の芸術文化活動の輪が、更に大きく広がることを望み、芸術・文化活動をされている団体の新規加盟を募集しています。

《加盟によるメリット》

○主催事業についての周知及び活動発表の場の提供
○芸術祭参加事業における施設の予約調整及び使用料の減免
○芸術祭参加公演団体へ助成

❖年会費　団体　５，０００円
❖入会についてのお問合せは、下記事務局へご連絡ください。

特定非営利活動法人　鶴岡市芸術文化協会事務局
〒997-0346 鶴岡市上山添字文栄100番地 鶴岡市櫛引庁舎内
Tel 0235-57-2008　Fax 0235-64-0515
E-mail：tsurugeibun@tiara.ocn.ne.jp
https://tsuruoka-geibun.or.jp

トップ画面のQRコード

●編集長：髙山千代子　●編集委員：布川美與子・菅原和則・榊原賢一・岡田麻有子・白田　光